

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和7年3月31日

事業所名:重症心身障害児向け児童発達支援・放課後等デイサービス ふわっと

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	
	②	職員の配置数は適切であるか	9	1	法律上規定された職員は配置しております。児童発達支援のお子さんは、急変しやすかったり体調が安定しないお子さんも多く、活動内容も豊富なため、職員数が多い日もあります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	0	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	0	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	1	月1回の職員会議の時に、お子さんの状況も含め、1か月の業務内容の共有と、次の1か月の業務内容について共有し、調整をしています。また、改善が必要な業務についても、その都度、職員会議で話し合っております。詳細は、議事録にも記載していますので、必要時ご参照ください。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	4	第三者による外部評価は現在行っておりません。今後、検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	
適切な 支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	0	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	3	重症心身障害児のお子さんは個性が高いため、標準化されたアセスメントツールの適用は不適切と考え、個別にお子さんの状況を職員間でカンファレンスアセスメントしております。

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
支 援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	1	児童発達支援ガイドラインとの関係性を計画に明記しております。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10	0	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	1	当事業所は、放課後等デイサービスとの多機能型であるため、児童発達支援の後はすぐに放課後等デイサービスの事前打ち合わせの時間になってしまい、職員も兼務している方も多いため、支援終了後に振り返りをする時間は取れていません。その分、ご利用日の朝の打合せ時に、前回ご利用の時の様子を共有し、それを踏まえてその日の支援内容を検討するようにしています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1	基本的にすべての児童について、半年ごとにモニタリングを行ない、計画の見直しの必要性について、職員間でも話し合いをしております。
	関 係 機 関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	0	
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	0	

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	10	0	
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	3	これまでは該当児がいませんでした。次年度は保育園と併行通園をするお子さんがいるため、情報共有していきます。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	4	該当児童がいなかったため、今年度は行っておりません。次年度は、年長児がいるため、学校への情報提供等を行ない、連携を図っていききたいと思います。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	3	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所の方が、ふわつとに見学や研修にいらしています。お子さんについても、必要時お電話で情報共有しています。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	0	近隣の小規模家庭保育「おうちほいくふたば」に訪問し交流を行いました。おうちほいくふたばも少数人数の保育施設のため、全員での交流ではなく、感染症予防と発達支援の両面を考慮して、交流が適当である児のみの交流とさせていただきます。次年度も感染症予防や年齢、発達支援という観点で、交流する児を検討し、できるだけ交流機会を増やしていきたいと思っております。
関 や 保 護 者 と の 連 携	②⑨	(目立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	3	若葉区の子育て会議、千葉市の医療的ケア児部会に出席しております。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	9	1	プログラムとしては実施していませんが、家族支援はご家族が送迎でふわつとに来られた時に、毎回10分～1時間程度、ご家族と家庭環境や育児状況等についてお話をする時間を作っています。
保 護 者	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	0	

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1	会報は発行していませんが、HUGやInstagramにおいて、普段の活動についてはご報告し、発信しております。行事予定や連絡事項がある場合には、お知らせのお手紙を、その都度、保護者に配布しております。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	0	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	6	当事業所に利用児は、重症心身障害児であり、免疫力や体力が低い児童が多いため、一度感染症にかかるとう重症化しやすい児が多いです。そのため、不特定多数の地域住民を事業所内に招待することは難しい状況です。しかし、地域の避難所運営委員会に参加したり、地域の「みつわ台祭り」「みつわ台桜まつり」の運営に職員が参加して、地域との交流をしています。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	0	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	0	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	0	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	4	現在、該当児童がいないため、年に1マニュアルを確認するのみの研修となっています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			該当児なし

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。